

住所 〒 〇〇〇〇-〇〇〇〇 東京都〇〇区××1-1-1	氏名 品川 一郎	性別 男	職業 会社員	屋号・雅号	世帯主の氏名	世帯主との続柄
平成28年1月1日の住所 同上	生年月日 3 5 0 . 0 1 . 0 1	電話番号 03 - 1111 - 3333	自宅・勤務先・携帯			

(単位は円)

種類	青色	分離	国出	損失	修正	特農	番号	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	翌年以降送付不要
----	----	----	----	----	----	----	----	---------------------	----------

収入金額等	事業等	ア								
	農業	イ								
	不動産	ウ		3	1	2	0	0	0	
	利子	エ								
	配当	オ								
	給与	カ		7	2	0	0	0	0	
	雑	公的年金等	キ							
		その他	ク							
		総合譲渡	ケ							
	一時	サ								
所得金額	事業等	1								
	農業	2								
	不動産	(不)3		1	6	7	0	0	0	
	利子	4								
	配当	5								
	給与	6		5	2	8	0	0	0	
	雑	7								
	総合譲渡・一時	8								
	合計	9		3	6	1	0	0	0	
所得から差し引かれる金額	雑損控除	10								
	医療費控除	11								
	社会保険料控除	12		1	0	5	2	5	0	
	小規模企業共済等掛金控除	13								
	生命保険料控除	14								
	地震保険料控除	15								
	寄附金控除	16								
	寡婦、寡夫控除	18						0	0	
	勤労学生、障害者控除	19~20						0	0	
	配偶者(特別)控除	21						0	0	
	扶養控除	23						0	0	
	基礎控除	24				3	8	0	0	
	合計	25		1	4	3	2	5	0	

税金の計算	課税される所得金額 (9-25)又は第三表	26		2	1	7	7	0	0
	上の26に対する税額又は第三表の86	27			1	2	0	2	0
	配当控除	28							
	区分	29							
	(特定増改築等)住宅借入金等特別控除	30							
	政党等寄附金等特別控除	31~33							
	住宅耐震改修特別控除 住宅特定改修・認定住宅 新築等特別税額控除	35~37							
	差引所得税額 (27-28-29-30-31-32-33-35-36-37)	38			1	2	0	2	0
	災害減免額	39							
	再差引所得税額 (基準所得税額) (38-39)	40			1	2	0	2	0
復興特別所得税額 (40×2.1%)	41					2	5	2	
所得税及び復興特別所得税の額 (40+41)	42			1	2	2	7	2	
外国税額控除	43								
所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額 (42-43-44)	44			3	5	8	6	8	
所得税及び復興特別所得税の申告納税額 (42-43-44)	45			2	3	5	9	5	
所得税及び復興特別所得税の予定納税額 (第1期分・第2期分)	46							0	
所得税及び復興特別所得税の納める税金 (45-46)	47							0	
還付される税金	48			2	3	5	9	5	
その他	配偶者の合計所得金額	49							
	専従者給与(控除)額の合計額	50							
	青色申告特別控除額	51							
	雑所得・一時所得等の所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額の合計額	52							
	未納付の所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額	53							
	本年分で差し引く繰越損失額	54							
	平均課税対象金額	55							
	変動・臨時所得金額	56							
延届納の出	申告期限までに納付する金額	57						0	0
	延届届出額	58						0	0

第一表 この用紙は控用です。 復興特別所得税額の記入をお忘れなく。

税理士 〇〇 印
署名押印
電話番号 03 - 1111 - 2222

税理士法第30条の書面提出有 税理士法第33条の2の書面提出有

収受事実を確認されたい方は、収受日付印を押なつしますので、申告書提出時に請求してください(内容を証明するものではありません。)

所得金額の証明が必要な方は、納税証明書をご利用ください。この申告書を提出される方は、住民税・事業税の申告書を提出する必要がありません。

還受付される税金の場

銀行 〇〇 金庫・組合 農協・漁協 ××

本店(支店) 出張所 本所・支所

郵便局名等 預金種類 普通 当座 納税準備 貯蓄

口座番号 記号番号 1 1 1 1 1 1 1

平成 27 年分の 所得税及び復興特別所得税 の確定申告書 B

番号 22222222



住所 東京都〇〇区××1-1-1
 支店名 〇〇支店
 フリガナ 〇〇 〇〇 〇〇
 氏名 〇〇 〇〇 〇〇

所得の内訳(所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額)

所得の種類	種目・所得の生ずる場所又は給与などの支払者の氏名・名称	収入金額	所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額
給与	給料 ABC東京都港区虎ノ門2-1-2	7,200,000	358,680
所得税及び復興特別 44 所得税の源泉徴収税額の 合計			358,680

特例適用条文等

雑所得(公的年金等以外)、総合課税の配当所得・譲渡所得、一時所得に関する事項

所得の種類	種目・所得の生ずる場所	収入金額	必要経費等	差引金額
		円	円	円

住民税・事業税に関する事項

住民税	16歳未満の扶養親族	扶養親族の氏名	続柄	生年月日	別居の場合の住所
		松浦 大	長男	平 15・1・1	

事業税	非課税所得など	番号	所得金額
	損益通算の特例適用前の不動産所得		2,630,000
	不動産所得から差し引いた青色申告特別控除額		
	事業用資産の譲渡損失など		
前年中の開(廃)業	開始・廃止	月日	他都道府県の事務所等

所得から差し引かれる金額に関する事項

雑損控除	損害の原因	損害年月日	損害を受けた資産の種類など	
	損害金額	円	保険金などで補填される額	円
医療費控除	支払医療費	円	保険金などで補填される金額	円
社会保険料控除	社会保険の種類	支払保険料	掛金の種類	支払掛金
	源泉徴収票より	1,052,508	小等規模企業共済	円
	合計	1,052,508	合計	
生命保険料控除	新生命保険料の計	円	旧生命保険料の計	円
	新個人年金保険料の計		旧個人年金保険料の計	
	介護医療保険料の計			
地震保険料控除	地震保険料の計	円	旧長期損害保険料の計	円
寄附金控除	寄附先の所在地・名称		寄附金	円
障害者控除	本人該当事項	寡婦(寡夫)控除 (死別 離婚) (生 死不明 未 帰 還) () 勤労学生控除 (学校名) ()		
	氏名			
配偶者特別控除	配偶者の氏名	生年月日	配偶者控除 配偶者特別控除	
		明・大 昭・平	万円	
	控除対象扶養親族の氏名	続柄	生年月日	控除額
			明・大 昭・平	万円
			明・大 昭・平	万円
23 扶養控除額の合計				万円

事業専従者に関する事項

氏名	続柄	従事月数・程度 仕事の内容	専従者給与(控除)額
			円
生年月日	明・大 昭・平		
氏名			
生年月日	明・大 昭・平		
50 専従者給与(控除)額の合計額			円

配当に関する住民税の特例

配当に関する住民税の特例	円
非居住者の特例	
配当割額控除額	
株式等譲渡所得割額控除額	0
寄附金税額控除	円
都道府県	円
市区町村	
給与・公的年金等に係る所得以外(平成28年4月1日において65歳未満の方は給与所得以外)の所得に係る住民税の徴収方法の選択	<input type="radio"/> 給与から差引き <input checked="" type="radio"/> 自分で納付
別居の控除対象配偶者・控除対象扶養親族・事業専従者の氏名・住所	氏名 住所
所得税で控除対象配偶者などとした専従者	氏名 給与 円

第二表 この用紙は控用です。

所得の内訳書

住所 東京都〇〇区××1-1-1

氏名 品川 一郎

(平成27年分)

所得の種類	種目	所得の生ずる場所 又は給与などの支払者の 住所・所在地、氏名・名称、電話番号	所得の基 となる資産の 数量	収入金額 <small>(所得税及び復興特別 所得税の源泉徴収 額を差し引かれた 収入金額)</small>	所得税及び 復興特別所得税 の源泉徴収税額	支払確定年月 又は支払を 受けた年月
給与	給料	ABC 東京都港区虎ノ門2-1-2 (電話)		円 7,200,000	円 358,680	年 月
		(電話)				
		(電話)				
		(電話)				
		(電話)				
		(電話)				
		(電話)				
		(電話)				
		(電話)				
		(電話)				
		(電話)				
		(電話)				
		(電話)				
		(電話)				
		(電話)				
		(電話)				
		(電話)				

源泉徴収票、国民年金保険料や生命保険料の支払証明書など申告書に添付しなければならない書類はこの裏面又は添付書類台紙に貼ってください。

平成 27 年分 医療費の明細書

東京都〇〇区 × × 1-1-1

住所

氏名 品川 一郎

この明細書は、申告書と一緒に提出してください。

医療を受けた人	続柄	病院・薬局などの所在地・名称	控除の対象となる医療費の内訳		左のうち生命保険や社会保険などで補填される金額 円
			治療内容・医療品名など	支払った医療費 円	
松浦 滋	本人	× × 病院		27,810 ^円	
松浦 滋	本人	〇〇耳鼻咽喉科		1,890	
松浦 滋	本人	〇〇夜間急病診察所		700	
松浦 大	長男	〇〇夜間急病診察所		4,640	
松浦 滋	本人	耳鼻咽喉科		1,120	
松浦 大	長男	耳鼻咽喉科		2,280	
松浦 滋	本人	× × 薬局		65,660	
松浦 滋	本人	〇〇薬局		10,350	
松浦 滋	本人	× × 治療室		17,325	
松浦 滋	本人	〇〇接骨院		3,360	
松浦 滋	本人	× × 病院		39,950	
松浦 滋	本人	〇〇外科クリニック		2,600	
合 計			A	177,685	B

【控除額の計算】

支払った医療費	(合計)	177,685 円
---------	------	-----------

A

保険金などで補填される金額		円
---------------	--	---

B

← 申告書第二表の「所得から差し引かれる金額に関する事項」欄の医療費控除に転記します。

差引金額 (A - B)	(赤字のときは0円)	177,685 円
-------------------	------------	-----------

C

所得金額の合計額		3,610,000 円
----------	--	-------------

D

← 申告書第一表の「所得金額」欄の合計を転記します。
(注) 次の場合には、それぞれ次の金額を加算します。

- ・退職所得及び山林所得がある場合…… その所得金額
- ・ほかに申告分離課税の所得がある場合…… その所得金額(特別控除前の金額)

なお、損失申告の場合には、申告書第四表(損失申告用)の「4 繰越損失を差し引く計算」欄の⁸³の金額を転記します。

$D \times 0.05$	(赤字のときは0円)	180,500 円
-----------------	------------	-----------

E

E と10万円のいずれか少ない方の金額		100,000 円
-----------------------	--	-----------

F

医療費控除額 (C - F)	(最高200万円、赤字のときは0円)	77,685 円
---------------------	--------------------	----------

G

← 申告書第一表の「所得から差し引かれる金額」欄の医療費控除に転記します。